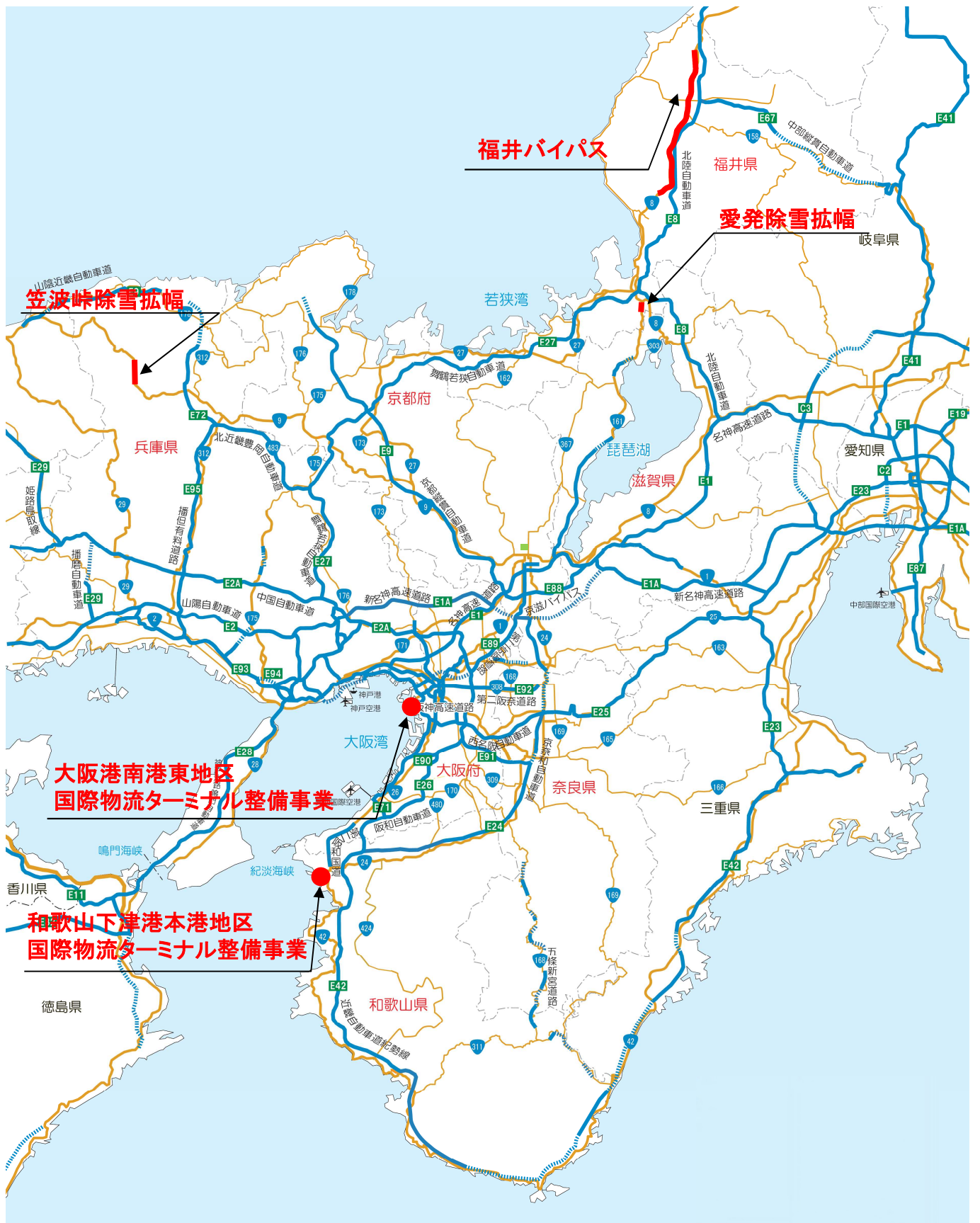


No. 2

近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
(令和3年度 第3回)

## 事業評価対象事業の一覧表及び位置図

# 事業評価対象事業の位置図



令和3年度 第3回 事業評価対象事業の一覧表

事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価理由	事業概要	審議区分
道路事業	一般国道9号笠波峠除雪拡幅	H28	④、⑤ 10%を超える事業費の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道9号の美方郡香美町内の冬期の安全で円滑な交通の確保及び地すべり区間の回避を目的とした延長4.6kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 昭和62年度</li> <li>●全体事業費 : 187億円</li> <li>●事業の進捗 : 約68%</li> <li>●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</li> </ul>	重点
道路事業	一般国道161号愛発除雪拡幅	H28	④、⑤ 10%を超える事業期間の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道161号の敦賀市疋田～同市駄口の冬期の円滑な交通の確保及び幅員狭小区間の解消等を目的とした延長4.5kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 平成15年度</li> <li>●全体事業費 : 81億円</li> <li>●事業の進捗 : 約88%</li> <li>●今後の予定 : 早期の供用を目指す。</li> </ul>	重点
港湾事業	大阪港南港東地区 国際物流ターミナル整備事業	H28	④、⑤ 10%を超える事業期間の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 大阪港においては、鋼材や鉄鋼、製材、金属くず等のバルク貨物の需要が見込まれる中、現在、バルク貨物を取り扱える岸壁の最大水深が12mしかなく、バルク貨物を輸送する船舶の大型化や岸壁の混雑による利用調整が生じるなど非効率な荷役形態となっていることから、積出拠点港としての効率性を高めて国際競争力の強化を図るために国際物流ターミナルを整備するものである。</li> <li>●事業化年度 : 平成8年度</li> <li>●全体事業費 : 118億円</li> <li>●事業の進捗 : 約33%</li> <li>●今後の予定 : 関連事業との整合を図りつつ、令和13年度の完成を目指す。</li> </ul>	重点
港湾事業	和歌山下津港本港地区 国際物流ターミナル整備事業	H28	④、⑤ 10%を超える事業期間の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 和歌山下津港背後に立地する企業の物流効率化を図り、地域の産業競争力の向上を支援するとともに、南海トラフ地震等の自然災害に対する地域防災力の強化を図る。</li> <li>●事業化年度 : 昭和50年</li> <li>●全体事業費 : 807億円</li> <li>●事業の進捗 : 約89%</li> <li>●今後の予定 : 早期の供用を目指す。</li> </ul>	重点
道路事業	一般国道8号福井バイパス	H28	④	<ul style="list-style-type: none"> <li>●概要 : 国道8号のあわら市内から越前市内の地域産業の活性化、交通安全の確保及び災害時の住民避難支援を目的とした延長42.2kmの道路。</li> <li>●事業化年度 : 昭和41年度</li> <li>●全体事業費 : 1,005億円</li> <li>●事業の進捗 : 約98%</li> <li>●今後の予定 : 早期の開通を目指す。</li> </ul>	一括

[再評価理由]

- ①: 事業採択後3年間で経過した時点で未着工の事業
- ②: 事業採択後5年間で経過した時点で継続中の事業
- ③: 準備・計画段階で3年間で経過している事業
- ④: 再評価実施後5年間で経過している事業
- ⑤: 社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業(具体的な理由を記載 例:10%を超える事業期間の増)
- ⑥: 道路事業・街路事業における一括評価を実施するため、再評価時期を前倒しする事業